

第 22 回猪名川部会（2004.10.21 開催）結果報告		2004.10.26 庶務発信
開催日時：	2004 年 10 月 21 日（木）15：00～18：00	
場 所：	天満研修センター 101 ホール	
参加者数：	委員 10 名(部会外委員 3 名) 河川管理者(指定席)9 名 一般傍聴者(マスコミ含む)48 名	
1．決定事項		
・ 次回の部会は 11 月 2 日（火）16：00～19：00 で天満研修センターにて開催する。		
・ 河川整備計画進捗状況への意見をとりまとめるために部会検討会を下記の日程で開催する。		
10/25（月） 10：00～12：30 マイドーム大阪		
10/28（木） 10：00～14：30 みずほ情報総研 会議室		
11/2（火） 10：00～15：00 天満研修センター		
2．審議の概要		
河川整備計画基礎案に係る平成 16 年度事業の点検について		
審議に先立って、河川管理者より、台風 23 号における猪名川流域の状況についてビデオとスライドを用いて説明が行われた後、資料 1「河川整備計画進捗状況報告項目」について説明が為され、意見交換が行われた。主な意見は以下の通り（例示）。		
○ [計画-1 河川レンジャー] について		
・ 河川管理者は、「なぜ河川レンジャーが必要なのか」「なぜ住民と連携していかなければならないのか」、その理由や目的についてあらためて確認して欲しい。河川レンジャー準備会の形態を見る限り、うまく実現できないのではないかと危惧している。準備会が活動内容等を提案するのではなくて、河川管理者自身が具体的な住民との連携方法や明確な河川レンジャー像を持っておくべき。		
・ 河川レンジャーについては、河川毎に現地で実際に試行しながら進めていくほかに思う。その中で地域的な特性も考慮していけばよい。最初から決めつけることはできない。		
○ [環境 1～72 河川環境] について		
・ 水質について、指標を決めてチェックしてほしい。節水キャンペーンの説明があったが、変化しているのは水量だけではない。水質も悪化している。		
・ 河川敷公園が 10 月に更新時期をむかえたと思うが、結果を教えて欲しい。		
← 河川保全利用委員会で今後の方向性等を考えていきたい。今後の河川敷公園のあり方等について、利用者と合意形成をしながら、根気よく進めていくしかないと思っている（河川管理者）。		
・ 河川敷に街路樹や野球場をつくるから河川の環境が破壊されてしまう。河川敷公園のメリットは確かにあると思うが、河川にある公園の姿がどうあるべきか、河川管理者は考えないといけない。		
○ [治水-3 排水機場運用の検討] について		
・ ポンプ排水調整の影響について検討結果が出されているが、下流のために一部の人の犠牲になってもらうということなのか。		
← 下流で破堤すれば上流も協力してもらうというのが今回の検討の目的となっている。ただ、この内容で運用するということではなく、検討結果の 1 つとして示した（河川管理者）。		
○ [利水-1 利水者の水需要精査確認] について		
・ 余野川ダムの検討では、大阪府営水道の水需要の精査確認結果が非常に重要になってくる。検討に間に合うよう、できるだけ急いで提出して欲しい。		
・ 節水キャンペーンのラジオ CM の内容について疑問に思う。川や湖に生物が棲めなくなったのは、		

水をたくさん使うようになったからではなく、人間の都合（治水・利水）で水をコントロールするようになったからだ。科学的に検証した上でCMをつくるべき。

- ・節水キャンペーンは、単なるキャンペーンで終わらせないよう、継続して取り組んで欲しい。また、何年先に何%の節水を実現するのか、数値目標を持った取り組みをお願いしたい。

○堤防強化について

- ・猪名川で最初に実施することになっていた善法寺地区の堤防補強はどうなっているのか。

←設計が遅れている。善法地区寺の堤防強化に関しては、基準値に満たない箇所について洗掘と浸透対策を施す。現在、緊急区間として 5km の範囲で 10 カ所を選定し地質調査等を行っている。地元住民へは、一部ではすでに説明をさせて頂いている（河川管理者）。

ダムWGについて

余野川ダムSWG本多サプリーダーより、検討状況について中間報告が為された後、主に余野川ダムについて意見交換が行われた。

- ・一庫ダムの利水容量を府営水道へ振り替えることができれば、余野川ダムの狭窄部上流への治水効果は失われることになる。問題は、狭窄部上流の浸水被害を軽減するための一庫ダム利水容量の振替先であって、余野川ダムとは切り離して考えなくてはならない（ダムWGリーダー）。

←現在、狭窄部上流の目標洪水規模の再検討を進めており、これにあわせて、一庫ダムから余野川ダムへの利水容量の振替が有効かどうか検討し直している（河川管理者）。

- ・猪名川下流域の既往最大の実績洪水における検討結果がいまだに出されていない。下流域の検討を進めるために至急資料を提出頂きたい（ダムWGリーダー）。

- ・第4回ダムWGの資料 1-7 では、昭和 28 年 9 月洪水を対象に余野川ダムの効果について説明されているが、1.0 倍の検討結果が示されていない。「1.0 倍では堤防が破堤せず被害が発生しないから資料に掲載しなかった」というのは絶対におかしい。あらためて、検討結果を示すよう要請する。

- ・天端 - 余裕高で破堤するという条件で昭和 35 年 8 月洪水 1.0 倍をシミュレーションした結果、下流で破堤するという結果が示されているが、当時は破堤しなかった。昔に較べて整備が進んでいるにもかかわらず、破堤してしまうという検討結果はおかしい。河川管理者には現在の整備状況で既往最大の実績洪水を対象にした検討結果を示して頂きたい（ダムWGリーダー）。

3. 一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者 2 名より発言があった。主な意見は以下の通り（例示）。

- ・猪名川部会委員には反省して頂きたい。全く議論になっていない。また、止々呂美地区で行われた余野川ダムの住民説明会にどれだけの委員が出席したのか。委員にはもっと勉強して頂きたい。
- ・ダムの報告を出そうという局面において、この程度の議論をしてはいけない。ダムWGと同レベルの議論をして欲しい。ダムの検討に必要な資料についても、あらかじめ河川管理者と打ち合わせをした上で議論をして頂きたい。

4. 台風 23 号に関する報告

河川管理者より、近畿管内における台風 23 号の概況について報告が行われた。兵庫県の円山川、由良川、加古川において浸水被害が発生しており、被害状況については後日あらためて報告する旨のコメントがあった。

このお知らせは委員の皆様には主な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させていただくものです。